

この度、滋賀県立聴覚障害者センターの所長に就任いたしました。当センターが開所して26年を迎えますが、開所とともにセンターの業務に携わり、センターとともに育つてきた私にとって、所長を任されることとは大きな使命を



「就任挨拶」

滋賀県立聴覚障害者センター所長

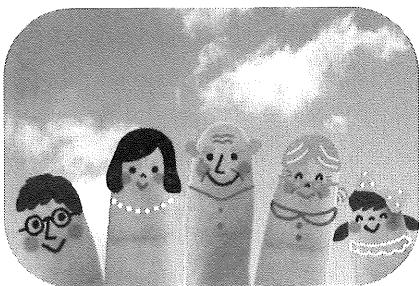
小竹安治

感じるとともに、阪神淡路大震災の年に開所し、東日本大震災から10年を迎えるこのコロナ禍でセンターを取り巻く情勢が厳しい中、今後のセンターを担っていくことに対しても、身の引き締まる思いです。

これまでセンターで仕事を続けてこられたのも、センターを利用する聴覚障害者の方々を初め、各事業において協力を頂いている関係団体や関係省の方々、役員や職員のみなさんとともにセンターの運営と事業の発展に取り組んでいきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

滋賀県立 聴覚障害者センター だより

—101号—
発行日／令和3年4月10日
発行所／草津市大路2丁目11-33
TEL 077-561-6111
FAX 077-565-6101
HP <https://shigajou.or.jp>



職員の動き

(採用)

滋賀県立聴覚障害者センター
宇田恭子



このたびご縁がありまして、正職員として働かせていただきました。精一杯努めたいと思っております。ご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

(退任)

滋賀県立聴覚障害者センター
所長木下博

あつという間の24年間でした。ここまで続けてこられたのは、センターを応援して下さった皆さんや職員の支えがあつたからこそです。心から感謝いたします。
これから立場は変わりますが、法人の発展のため力を尽くす所存です。引き続き変わらぬお付き合いをお願いいたします。

新規登録者の紹介／手話通訳者・要約筆記者

◆手話通訳者◆

北川 真弓さん（長浜市）



今は、応援して下さった皆様のお陰で合格することができ感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも皆様の期待に応えられる様に頑張ります。

田巻 文さん（草津市）



手話を指導してくれた皆様や仲間から学んだことが積み重なつて

謝申し上げます。今後も努力していきます。

渡邊 孝宏さん（彦根市）



手話を通じて、いろいろな人に出会い、いろいろな話を聞き、いろいろな経験をしたいです。末長く、よろしくお願ひいたします。

森重 文博さん（大津市）



手話との出会いは大学生。還暦過ぎて改めて学び直し、その奥深さに驚いています。みなさんと一緒に実践力を高めていきました。

お問い合わせは聴覚障害者センターまで。

西村 裕康さん（日野町）



お世話になった方に感謝とお礼を申しあげます。「共に生きる社会」の実現を目指し、自分にできることを精一杯がんばります。

柳橋 直子さん（守山市）



手話を通じて、いろいろな人に出会い、いろいろな話を聞き、いろいろな経験をしたいです。末長く、よろしくお願ひいたします。

引き締まる思いです。知識を抜け、少しでもお役に立ちたいと思います。

増田 和子さん（草津市）



やっと要約筆記者の仲間に加わることになり、身が

このたび、やっと要約筆記者の仲間に加わることになります。末長く、よろしくお願ひいたします。

ヘルプカードとは、援助を必要としている障害のある方などが携帯し、いざというときに必要な支援や配慮を周囲の人にお願いするためのカードです。

◆要約筆記者◆

川瀬 朋子さん（守山市）



やっと合格できました。先輩方の励ましおかげです。

これからもどうかよろしくお願ひします。

センターでも配布を始めました！
ヘルプカード



お問い合わせは聴覚障害者センターまで。

今こそ注目！フレイル予防つて？元気なうちから始めよう！！



予防運動 片脚立ち

フレイルの兆候がみられても、適切な介入や支援により、健康に戻れる可能性があります。

フレイルには多面的な側面「社会性の衰え」「身体の衰え」そして「心・認知の衰え」があります。

その中でも「身体の衰え」、食べる、飲み込むなどの機能低下は低栄養にもつながります。それにはオーラルケア、歯の定期健診が有効です。また多くの食材を摂取するための合言葉「さあにぎやかにいただく」、さ・さかな、あ・あぶらと意識して食生活を送ることは大切です。

参加者からは、「丁寧な説明でよくわかった」「自分はフレイル予備軍かもしれない。今日からでも意識する」との声がありました。久しぶりの再会にみんなの笑顔があわっていました。社会どつなかる機会として「皆さんの今日の予定」になるような企画を引き続き開催していきます。

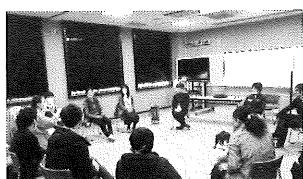
若いろう者の交流の場 ～青年講座を開催～

今年度の青年講座は、2月27日に開催しました。今回は、手話の基本的な文法を学び合い、お互いに分かり易く、通じやすい伝達方法について意見交換しながら学習を進めました。講座には15人の若者が参加しました。

[参加者の感想]

★今回の企画について、手話の数字ゲーム時に「3」の手話が思いつかなかったが、他のメンバーは色々な手話が出てきて勉強になり大変良かったです。また手話の文法を初めて学んで正しい知識が必要だと改めて思いました。今後は手話の技術を磨いて前よりよりよいコミュニケーションを図っていきたい。今回の企画に参加して本当によかったです。(30代男性)

★青年講座の実行委員として担当しました。この中で一番面白かった内容はフルーツバスケットゲームでした。口話や指文字を使わないというルールで、やってみたらやっぱり難しかった。でも、手話に関する基本的知識を身につけないと改めて気づきました。来年度も青年講座の企画をぜひ聞いていただきたい。
(ろうあ協会青年部長)



多くの種類の食品を語ろう!

合言葉は「さあにぎやかにいただくな！」

さかな	動物性たんぱく質やカルシウム、ビタミンDが豊富
あぶら	適度な油脂分は細胞などを作るのに必要
ににく	畜肉たんぱく質の代表
きゅうにゅう	たんぱく質とカルシウムが豊富
きさい	ビタミンや食物繊維を充分に摂れる
かいろいそう	エネルギーでもミネラルと食物繊維が豊富
いも	糖質アミノ酸、ビタミン、ミネラルも豊富
たまご	いろいろな調理法で簡単にたんぱく質が摂れる
だいす	たんぱく質の量に最も必要なアミノ酸やカルシウムも豊富
だもの	ミネラル、ビタミンが多く食物繊維も摂れる

ほとんど毎日摂る場合:1点、それ以下の頻度:0点として計算してみましょう。あなたの得点は?

毎日の食事で7点以上を目指しましょう。

「ロコモパンフレット2020」より

全国手話検定試験にチャレンジ！

～5級から2級まで105人が受験～

去る2月27日（土）、28日（日）の2日間、社会福祉法人全国手話研修センター主催の第15回全国手話検定試験が大津市の明日都浜大津で実施されました。例年は10月に実施されますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でこの時期の開催となりました。

受験者は全体で105人。級別では、5級（34名）、4級（31名）、3級（29名）、2級（11名）で、県内各地から受験されました。又、受験生は小学生から70代まで幅広い年代層に広がっており、手話が様々な世代に浸透している様子がうかがえます。

今回は、コロナ禍の中での試験でしたので、受講生や面接委員、スタッフの感染リスクを避けるよう、例年より定員を減らしたり、面接試験の合間に換気を入れるなど、万全な体制で運営しました。

この試験は、毎年実施しており、手話を学ばれる皆様の学習の励み（目標）となり、そのレベルに応じて地域のろう者との交流や職場などに活用していただけることで、積極的に受験されるのを期待します。

●健康管理講習会 開催のお知らせ●

聴覚障害者の社会参加と自立を支援する「意思疎通支援事業」の担い手である手話通訳者や要約筆記者が健康で活動を続けられるよう、毎年、健康管理に関する取り組みを進めています。

今回、2020年度に実施しました「頸肩腕検診」の結果と今後の取り組みについて、行政担当者や意思疎通支援者、関係団体役員などが学ぶための標記講習会を開催します。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、会場の定員の半数の20名までの参加とします。

当日参加はできませんのでご注意ください。

また、後日インターネット動画の配信を行います。

日 時：2021年4月24日（土） 10:00～12:00

場 所：滋賀県立聴覚障害者センター 研修室

内 容：「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと

活動するために」

講 師：滋賀医科大学 北原 照代 氏

ストレッチ体操（DVD視聴）

講 師：理学療法士 森田 英昭 氏

最新の補聴援助システムについて

ヒアリングループ体験～要約筆記者研修～

3月21日（日）、県中途失聴難聴者協会事務局長の町田晴彦氏を講師にお迎えし、ヒアリングループについて学びました。参加者は14名。研修室にも設置されている「ヒアリングループ」は養成テキストにも載っていて馴染みはあるのですが、実際の聞こえ方や、設置を体験したいことのない参加者がほとんどでした。

町田氏の実体験に基づく難聴者の聞こえについて、ループ設置の際の問題点などの講義のあと、機器を使って体験は個人用ヒアリングループで対面ボードタイプ、シートタイプの2種類です。シートタイプは車内の運転席などに置くだけのループアンテナです。補聴器を使用すると、とてもクリアに聞こえました。

そしてループの設置。派遣現場で要約筆記者が設置方法について尋ねられることがまれにあります。「今回、基本的なことを学んで慌てずに対応できるかも」と参加者からの声もありました。

タツノオトシゴ

本は図書館を利用している。ホームページで蔵書検索もできるし、個人サービスに登録しておけば予約も簡単。予約状況も分かる。24時間対応していて「貸し出し可」のお知らせもメールで届く。場所も家から車で10分ちょっとと近い。ただ、人気の作家さんだと新刊が3年待ちになることもざらであるが。気長に待つ。待つの苦ではないが、そんな数年待ちの本の順番がやっと回ってきたとき、たまたま忙しかったりすると慌ただしく読んで返却と、ちょっと残念な気持ちになることもあった。それが昨年は在宅時間が増えてゆっくり読むことができた。コロナ禍で閉塞感も大きかったが、充実した読書の時間が持てた。

（T.N）